



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社ヨータイ 上場取引所 東
 コード番号 5357 URL <http://www.yotai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田口三男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社業務部長 (氏名) 竹林真一郎 (TEL) 072-430-2100
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,778	4.3	2,186	△11.8	2,234	△11.3	1,458	△14.8
2019年3月期第2四半期	13,209	19.8	2,477	112.4	2,518	106.5	1,712	105.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,424百万円(△16.6%) 2019年3月期第2四半期 1,708百万円(72.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	66.37	—
2019年3月期第2四半期	77.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,836	26,353	77.9
2019年3月期	34,186	25,104	73.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 26,353百万円 2019年3月期 25,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2020年3月期	—	9.00			
2020年3月期(予想)			—	7.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2020年3月期中間配当の内訳 普通配当7円00銭 記念配当2円00銭(上場70周年記念配当)

詳細は、本日公表の「2020年3月期通期連結業績予想の修正及び剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△6.7	4,000	△22.1	4,100	△21.5	2,850	△21.1	129.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	25,587,421株	2019年3月期	25,587,421株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,609,730株	2019年3月期	3,609,678株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	21,977,721株	2019年3月期2Q	21,977,917株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が持続しているものの、輸出が弱含み、景気に足踏み感がみられます。

一方、世界経済は、米中貿易摩擦の長期化、中国経済の成長鈍化、英国のEU離脱問題、中東情勢の緊迫化など依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、お客様のニーズをとらえた新製品の開発及び国内外への積極的な営業展開、品質第一とした構造改革の推進と一層の生産効率化等に鋭意取り組んでまいりました。そして、中国子会社につきましては輸出の拡大、高付加価値品や不定形耐火物の拡販などの体質改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は137億78百万円と前年同四半期に比べ5億69百万円の増収となり、営業利益は21億86百万円と前年同四半期に比べ2億91百万円減少し、経常利益は22億34百万円と前年同四半期に比べ2億84百万円の減少となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、14億58百万円と前年同四半期に比べ2億53百万円の減少となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(耐火物等)

耐火物等事業につきましては、ガラス関係の需要が旺盛だったこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は117億1百万円となり、前年同四半期に比べ2億39百万円の増収、セグメント利益は原料価格の高騰や減価償却費の増加に伴う原価上昇等により、25億54百万円となり、前年同四半期に比べ3億34百万円の減少となりました。

(エンジニアリング)

エンジニアリング事業につきましては、環境装置関係向けの受注が増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は20億77百万円となり、前年同四半期に比べ3億29百万円の増収、セグメント利益は2億89百万円となり、前年同四半期に比べ25百万円の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の財政状態につきましては、中国の環境規制による耐火物原料の供給問題等に対応したことにより、資産合計、負債合計は減少し、純資産合計は増加となりました。

それぞれの状況は次の通りであります。

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、338億36百万円であり、前連結会計年度に比べ3億49百万円減少しました。これは主として、現金及び預金の増加8億30百万円等があるものの、電子記録債権の減少4億65百万円、原材料及び貯蔵品の減少2億2百万円、仕掛品の減少1億56百万円、投資有価証券の減少1億17百万円、受取手形及び売掛金の減少1億9百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、74億83百万円であり、前連結会計年度に比べ15億98百万円減少しました。これは主として、買掛金の減少8億8百万円、流動負債「その他」に含まれている未払費用の減少8億円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、263億53百万円であり、前連結会計年度に比べ12億48百万円増加しました。これは主として、利益剰余金の増加12億82百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の自己資本比率は77.9%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は52億42百万円となり、前第2四半期連結会計期間末より24億23百万円増加いたしました。これは、中国の環境規制による耐火物原料の供給問題等に対応した結果であります。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は18億72百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比10億9百万円の増加)。これは主に、法人税等の支払額9億68百万円等の減少要因があるものの、税金等調整前四半期純利益21億85百万円、売上債権の減少5億67百万円等の増加要因によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての獲得した資金の増加は、たな卸資産の増減差が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は7億50百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比3億29百万円の増加)。これは主に、有形固定資産の取得による支出8億78百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての使用した資金の増加は、有形固定資産の取得による支出が増加したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は1億87百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比30百万円の増加)。これは主に、配当金の支払額1億75百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての使用した資金の増加は、配当金の支払額が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最新の経営環境等を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2019年11月7日)公表の「2020年3月期通期連結業績予想の修正及び剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,411,347	5,242,073
受取手形及び売掛金	11,436,698	11,327,112
電子記録債権	1,436,661	970,678
製品	3,839,350	3,794,277
仕掛品	587,761	431,575
原材料及び貯蔵品	4,735,414	4,533,405
その他	189,497	56,891
貸倒引当金	△2,582	△2,753
流動資産合計	26,634,149	26,353,260
固定資産		
有形固定資産	5,183,931	5,221,570
無形固定資産	32,458	29,748
投資その他の資産		
投資有価証券	2,079,407	1,961,868
その他	292,390	305,838
貸倒引当金	△35,886	△35,425
投資その他の資産合計	2,335,912	2,232,281
固定資産合計	7,552,301	7,483,601
資産合計	34,186,451	33,836,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,568,759	1,759,920
電子記録債務	1,767,262	2,035,625
未払法人税等	1,074,760	770,609
賞与引当金	—	337,375
役員賞与引当金	27,470	13,170
その他	2,203,717	1,130,951
流動負債合計	7,641,970	6,047,652
固定負債		
退職給付に係る負債	1,369,380	1,357,197
その他	70,633	78,553
固定負債合計	1,440,014	1,435,751
負債合計	9,081,984	7,483,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,654,519	2,654,519
資本剰余金	1,750,465	1,750,465
利益剰余金	20,617,739	21,900,668
自己株式	△693,341	△693,370
株主資本合計	24,329,383	25,612,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	669,004	651,373
繰延ヘッジ損益	9,589	1,275
為替換算調整勘定	179,937	162,694
退職給付に係る調整累計額	△83,449	△74,168
その他の包括利益累計額合計	775,082	741,174
純資産合計	25,104,466	26,353,458
負債純資産合計	34,186,451	33,836,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	13,209,258	13,778,878
売上原価	9,652,620	10,542,541
売上総利益	3,556,638	3,236,336
販売費及び一般管理費	1,079,162	1,050,229
営業利益	2,477,475	2,186,106
営業外収益		
受取利息	3,624	5,892
受取配当金	35,322	35,707
不動産賃貸料	9,072	8,605
その他	10,629	6,868
営業外収益合計	58,649	57,074
営業外費用		
支払利息	220	438
為替差損	15,471	5,560
その他	1,460	2,488
営業外費用合計	17,152	8,487
経常利益	2,518,972	2,234,693
特別利益		
固定資産売却益	144	—
投資有価証券売却益	—	17,212
特別利益合計	144	17,212
特別損失		
固定資産除却損	2,297	—
投資有価証券評価損	—	66,220
特別損失合計	2,297	66,220
税金等調整前四半期純利益	2,516,818	2,185,684
法人税、住民税及び事業税	834,920	724,784
法人税等調整額	△30,340	2,149
法人税等合計	804,580	726,934
四半期純利益	1,712,238	1,458,750
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,712,238	1,458,750

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,712,238	1,458,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,353	△17,631
繰延ヘッジ損益	7,556	△8,314
為替換算調整勘定	△43,623	△17,242
退職給付に係る調整額	11,269	9,280
その他の包括利益合計	△3,443	△33,907
四半期包括利益	1,708,794	1,424,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,708,794	1,424,843
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,516,818	2,185,684
減価償却費	312,910	397,463
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19,171	189
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,037	△12,183
賞与引当金の増減額(△は減少)	318,950	337,375
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,108	△14,300
受取利息及び受取配当金	△38,946	△41,599
支払利息	220	438
固定資産売却損益(△は益)	△144	—
固定資産除却損	2,297	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△17,212
投資有価証券評価損益(△は益)	—	66,220
売上債権の増減額(△は増加)	△407,461	567,431
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,527,876	397,608
仕入債務の増減額(△は減少)	477,749	△516,664
その他	36,957	△550,694
小計	1,708,577	2,799,757
利息及び配当金の受取額	38,946	41,599
利息の支払額	△220	△438
法人税等の支払額	△884,569	△968,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	862,733	1,872,333
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△415,459	△878,455
有形固定資産の売却による収入	344	—
投資有価証券の取得による支出	△5,860	△5,902
投資有価証券の売却による収入	—	33,886
投資活動によるキャッシュ・フロー	△420,975	△750,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△105	△28
配当金の支払額	△152,975	△175,408
その他	△3,990	△11,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	△157,072	△187,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,436	△3,985
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	277,249	930,726
現金及び現金同等物の期首残高	2,541,434	4,311,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,818,684	5,242,073

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	11,461,420	1,747,838	13,209,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	11,461,420	1,747,838	13,209,258
セグメント利益	2,888,920	263,997	3,152,917

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額

及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,152,917
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△675,441
四半期連結損益計算書の営業利益	2,477,475

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	11,701,128	2,077,750	13,778,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	11,701,128	2,077,750	13,778,878
セグメント利益	2,554,448	289,524	2,843,973

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額

及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,843,973
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△657,866
四半期連結損益計算書の営業利益	2,186,106

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。